〈日中「孫文・梅屋庄吉」塾 2022 グループ討議結果〉

A 班：新たな 50 年に向けて私たちが取り組む友好交流

【現状と問題点】

コロナの影響で国際的な交流ができる場や頻度が少なくなっている。

【問題点を解決するためのアイデア】

〇オンラインでの交流

ゲーム、SNS、Zoom、Movie、Study

〇対面での交流

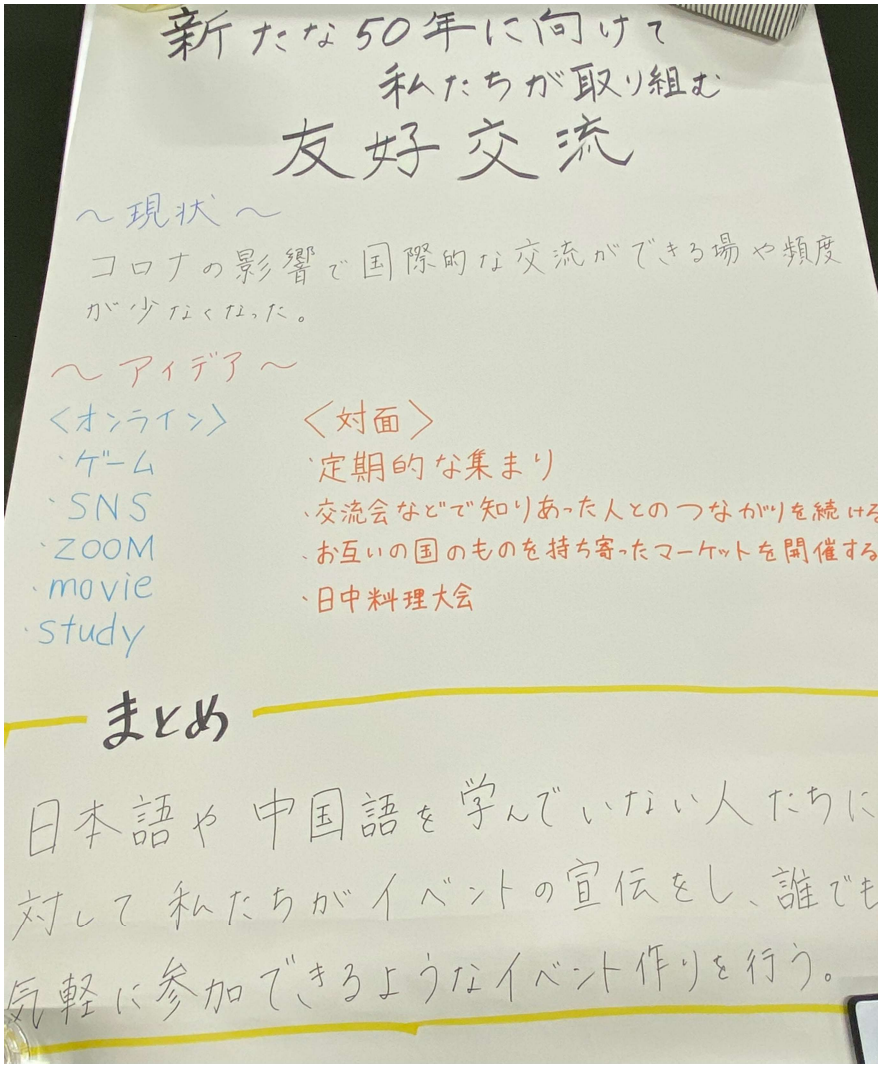
・定期的に集まる、交流会などであった人とのつながりを続ける（例：植樹など）

・お互いの国のものを持ち寄ったマーケットを開催する

・日中料理大会を開催する

【まとめ】

日本語や中国語を学んでいない人たちに対しても私たちがイベントの宣伝をし、気軽に参加できるようなイベント作りを行う。



B 班：学生同士の国際交流を盛んにするために必要なこと

【現状】

コロナの影響によって旅行や留学ができない状況が続いた。しかし、徐々に海外への渡航も再開しつつあり、今後は交流の機会が増えることが想定される。

【アイデアとその効果】

〈個人〉

〇各国の SNS を使って情報発信（例：日本－LINE、中国－We Chat など）様々な言語を学ぶ、外国の歴史を学ぶ

→情報収集力 UP！

〇交流会やボランティア活動への参加、他国の音楽、映画やドラマに触れる、他国の食文化を知る

→興味関心 UP！

〇旅行に行く、バーなど、外国人の方が集まる場所に行く、寮でルームシェア

→新しい価値観ゲット！

〈団体〉

〇母語禁止でコミュニケーション、グループ活動を行う、留学に行く

→経験値・適応力・思考力 UP！

〇オンライン留学、Zoom を使った交流

→節約できる！

〇留学生と現地学生でパートナーになって学校紹介や言語交換を行う、パーティー開催

→コミュニケーション力・興味関心 UP！

〇スポーツ大会を開催、国際マラソンへの参加、各国に関するフェアを開催、外国語のコンテストに参加

→達成感ゲット！

【最後に】

今回学んだ孫文先生と梅屋庄吉先生のように、お互いがお互いに協力し合える交流を今後も続けていきたい。

C 班：学生同士の国際交流を盛んにするために必要なこと

【課題と解決策】

〇せっかく交流会に参加しても国籍が同じ人と固まってしまう

・違う国出身の学生同士でペアを組む

・ゲームを通して仲を深め、積極的に意見交換する場を作る

〇費用が高い、コロナで海外に行けない

・オンライン留学やオンライン交流会を行う

〇異文化を知るための手段が限られている

・ニュースの情報のみに頼らず、SNS などを通じて情報収集を行うとともに自国の文化の発信も行う

・国内に住んでいる外国人と交流する機会を作る（例：スポーツ大会、悩み相談会など）

・様々な視点から物事を考えるために、世界共通の課題について意見交換や解決方法を話し合う場を作る

・交流会などがあってもそれを知らない人がいるため、告知の手段を改善する

〇積極的に外国語を使うことができない

・それぞれのレベルに合わせた交流会を行う

・交流の前に言語のレッスンを受けられる機会を作る

・失敗を恐れない

〇交流が 1 度きりで終わりがち

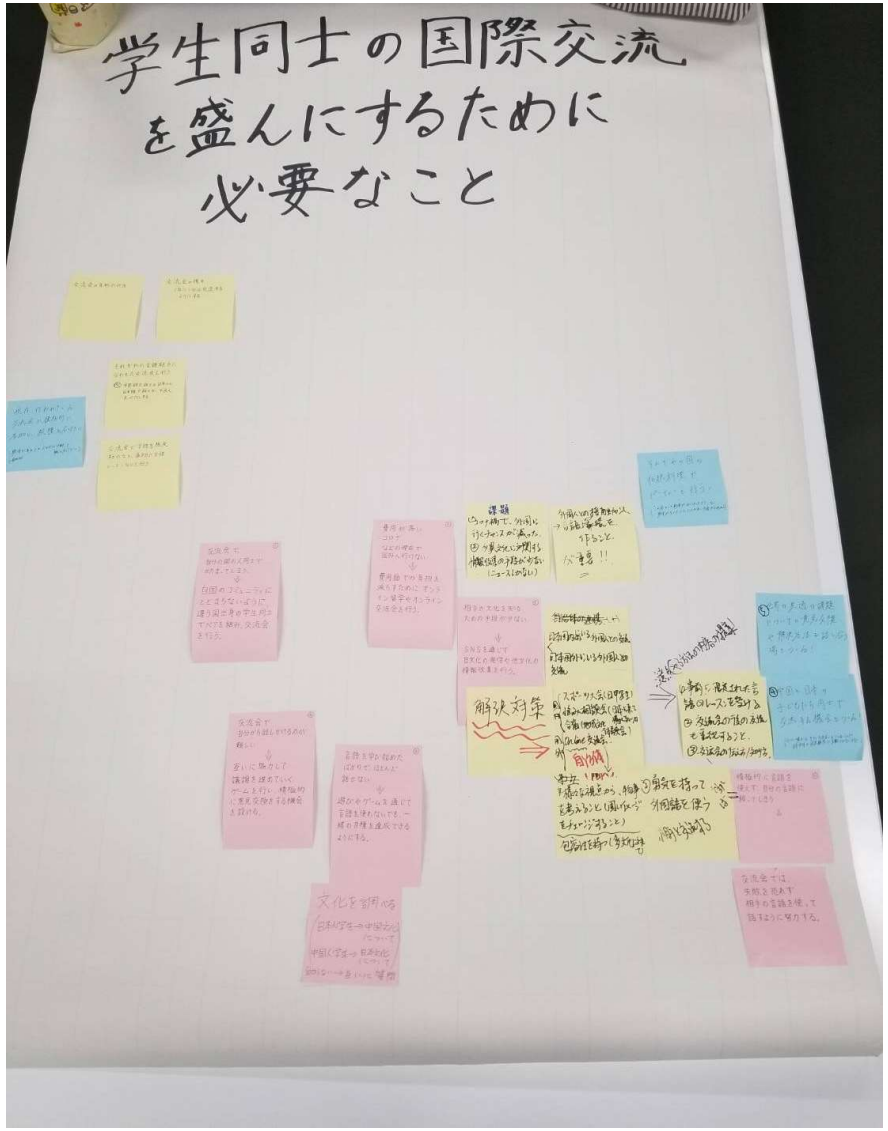
・交流会後も 1 年に 1 回は継続的に集まる機会を設ける

〇幼いころからの交流が足りていない

・子どもたち同士で交流を行うことで、幼いころから世界平和について考えることができる

【最後に】

私たち若い世代は国際交流を進めていく重要な存在であるため、今後も学生同士の交流をもっと深めていきたい。



D 班：世界中が平和になるためには、今後どのような交流が必要か

【テーマを選んだ理由】

現在ウクライナ・ロシア間で戦争が起こっている中、長崎県民として戦争の怖さを知っているからこそ、世界が平和になってほしいという願いが強いから。

【アイデア】

〇戦争の悲惨さと平和の尊さ

・日中国交正常化 50 周年にあたって 50 年の歴史を学ぶ、戦争を経験した世代から戦争について学ぶ、核兵器廃絶の活動を通した交流…など

〇国家全体に望むこと

・話し合いによる解決をしてほしい、留学に行きやすい環境を整えてほしい

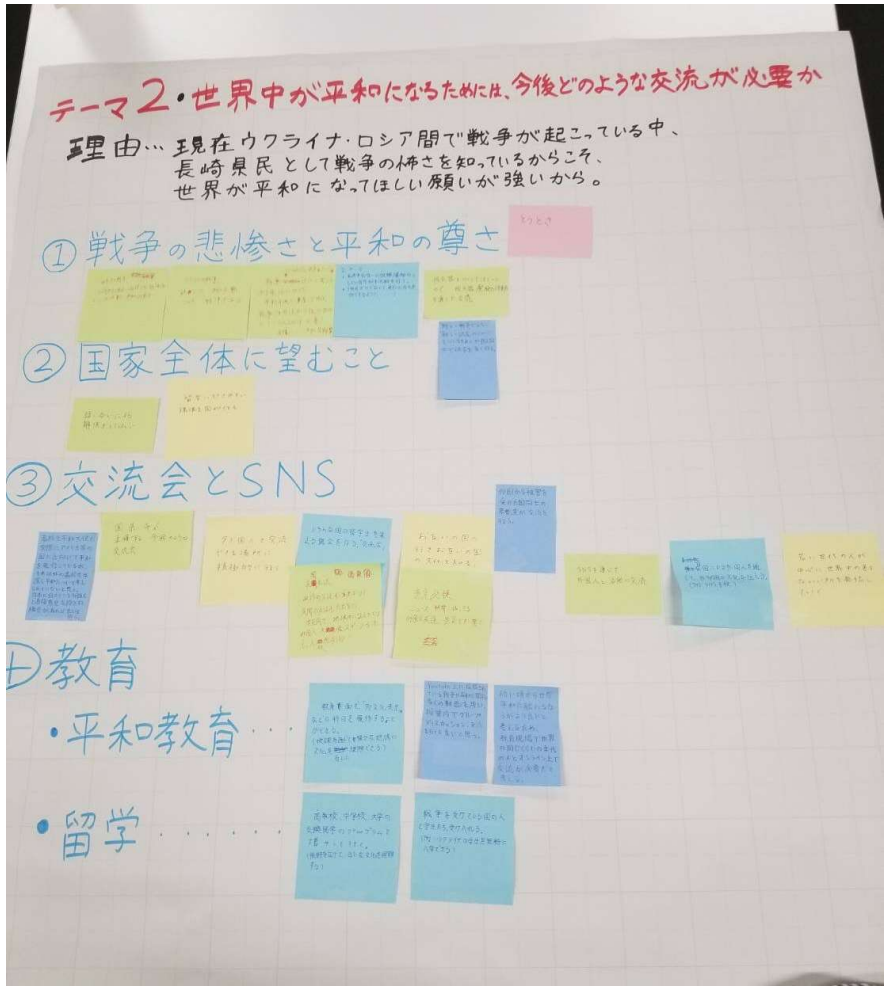
〇交流会と SNS

・日本にいる外国人の方と直接意見交換する場、行政が主催する交流会、SNS などを使って若い世代の人を中心に世界中の様々な良いところを発信…など

〇教育

・平和教育

「多文化共生」などの科目を履修する、戦争や平和に関する動画を使ってグループディスカッションを行う、幼いころから世界平和について考えてもらうために世界中の同年代とオンライン上で交流する

・留学

視野を広げてお互いの文化を理解するために交換留学制度を増やしていく、戦争の被害を受けている国民や学生たちを受け入れる